

「大人になっても

竜王町で暮らし続けるために

今と未来の自分たちにできること」

竜王 こども まんなが 会議 2024

RYUOH TOWN KODOMO

MANNAKA KAIGI 2024



竜王町こどもまんなか会議とは？

竜王町こどもまんなか会議は、小中学生が主体となり、地域の課題を考え、解決策を提案し、発表する場です。

目的

子どもたちが「自分たちの住みたい竜王町」を一緒に考える。

地域の課題を調査し、解決策を提案する。

提案内容を町の大人たちに発表し、地域に還元する。

【2024年のテーマ】 WHAT WE CAN DO NOW AND IN THE FUTURE.

大人になっても竜王町で暮らし続けるために 今の・将来の自分たちにできることは？

このテーマを通じて、参加者たちは自身のウェルビーイングを見つめ直し、地域課題と向き合いながら、自分たちの価値観と地域の未来を結びつけた提案を作成しました。

SCHEDULE

第1回

08.22
キックオフミーティング

第2回

09.14
グループでテーマを深める

第3回

09.28
グループインタビュー

第4回

11.09
発表準備

第5回

12.07
提案発表

01 お姉さん役の 大学生サポーターが大活躍！

「ちょっと緊張しちゃう…」という子も大丈夫。
子どもたちと近い感覚を持った大学生サポーター
が、頼れるお姉さんとして、優しくグループを
サポートしました。

02 フラットな意見交換で、 町の課題がクリアに！

年齢や立場の違いを超えて、みんなで「竜王町
の未来」を語り合う中で、子どもたちの考えが
磨かれただけでなく、「町の課題ってこんなと
ころにもあるんだ！」と新たな発見が続出。

竜王
こども
まんなか
会議
2024
RYUOH TOWN KODOMO
MANNAKA KAIGI 2024

CONTENTS

- P03 第1回 キックオフミーティング
- P04 第2回 グループでテーマを深める
- P05 第3回 グループインタビュー
- P06 第4回 発表準備
- P07 第5回 提案発表 -2チームからのプレゼンテーション-
- P08 竜王町地域共生社会推進フォーラムパネルディスカッション
町役場や地域からのフィードバック
- P09 全体振り返り・今年度の成果



キックオフミーティング

未来を考える第一歩、みんなで竜王町をもっと知ろう

「未来の竜王町って、どんな場所がいい？」

そんな問いかけから始まったこの日。まずはアイスブレイクで緊張をほぐし、自分が大切にしている価値観を「ウェルビーイングカード」に書き出しました。これがその後のテーマ設定の土台に！

役場の職員さんからの話題提供もあって、地域の課題を知るきっかけになりました。

開催日時：2024年8月22日(木) 10:00～12:00

場 所：竜王町公民館

参加者：小中学生・大学生サポーター・町役場職員

目 標：チームでテーマを深掘りし、具体的な課題を整理する。提案に向けた基礎を固める。

PROGRAM 2024.08.22 THURSDAY

オープニング

- プロジェクト概要説明
- グランドルールの共有(例：誰もが等しく参加する、否定しないなど)

アイスブレイク

- フルーツバスケット(参加者同士が楽しく交流するゲーム)
- 1分間自己紹介(名前、趣味、好きな場所など)

テーマに関する話題提供

- 町役場 福祉課 園司圭秀さんによる話題提供「大人になっても竜王町で暮らし続けるために今できること」について地域の現状や課題を共有

ワーク①「自己と向き合う」

- ウェルビーイングカード選択
自分にとっての幸せの要素を選び、理由をグループでシェア

ワーク②「マイテーマの検討」

- 竜王町の基本計画から興味あるテーマを選び、自分の「マイテーマ」を作成

成果発表

- 各自が作成した「マイテーマ」を発表し、初めの一歩を共有

クロージング

- 次の内容案内と宿題の確認

第1回会議 竜王町の関心テーマ

- 地域コミュニティの活性化と協働の推進 (竜王小学校 2年)
- 魅力ある学校づくり (竜王小学校 4年)
- 認め合う (竜王小学校 4年)
- 障がい者福祉推進 (竜王小学校 5年)
- スポーツ (竜王小学校 5年)
- 人権の尊重 (竜王小学校 6年)
- 安心で快適な学校施設の整備・充実 (竜王中学校 1年)
- スポーツ・社会教育の推進 (竜王中学校 1年)
- 循環社会の推進 (竜王中学校 2年)
- 歴史・文化の保全と活用 (竜王中学校 3年)



テーマを深める

私たちが考える竜王町の課題と理想

「理想の竜王町」を描きながら、「現状の課題」とのギャップをみんなで議論。

大学生のサポートも受けながら、共通のテーマをもった仲間グループに分かれて対話を展開。

各グループが目指すテーマを具体的に整理していきしました。

開催日時：2024年9月14日(土) 15:00～17:00

場 所：竜王町公民館

参加者：小中学生・大学生サポーター・町役場職員

目 標：チームでテーマを深掘りし、具体的な課題を整理する。提案に向けた基礎を固める。

PROGRAM 2024.09.14 SATURDAY

オープニングと目的説明

- 前回の振り返りと、今回の目標を共有。
- 「自分たちが地域にできることを考え、課題解決に向けた提案を準備する」

アイスブレイク

- 「前回の気づき」を共有する簡単なゲーム形式。

テーマ絞り込みディスカッション

- 各チームでテーマを1～2つに絞り込む

テーマ発表

- 絞り込んだテーマをグループごとに発表し、他のグループから簡単なフィードバックを受ける

課題整理ワークショップ

- 絞り込んだテーマの「現状」「理想」「ギャップ」を模造紙に整理

解決策の議論

- 理想に近づくための具体的なアクションを話し合い、模造紙にまとめる

グループ発表とフィードバック

- ワークショップの結果を発表し、参加者全員でフィードバックを行う

まとめと次回予告

- 今回の成果を振り返り、次回の会議への準備として「質問リスト」を考える宿題を出す



グループインタビュー

大人の知恵を借りて、提案をブラッシュアップ

この日は地域の各分野の専門職である行政職員の方々が登場！
「今の竜王町には何が足りない？」を直接質問できる貴重な機会でした。
子どもたちは現場の声を聞きながら、自分たちのアイデアに新たな視点を加えていきました。

開催日時：2024年9月28日(土) 15:00～17:00

場 所：竜王町公民館

参 加 者：小中学生・大学生サポーター・町役場職員・ゲスト(各分野の専門職である行政職員)

目 標：外部ゲストへのインタビューを通じて、新しい視点や具体的なアドバイスを
自分たちの提案を現実的かつ効果的にブラッシュアップする。

オープニングと目的説明

- ・会議の流れやグループインタビューの進め方を共有
- ・ゲストの紹介(職業や役職、関心領域の簡単な説明)

インタビュー準備

- ・各グループで事前に考えた質問を確認・整理

グループインタビュー①

- ・各グループがゲストに対して質問を行い、意見や知識を共有

グループインタビュー②

- ・ゲストから得た情報をもとに追加質問や議論を深める
- ・インタビューで得たデータやアイデアを整理

インタビュー結果の整理と共有

- ・各グループが「現状」「理想」「解決策」を模造紙にまとめ、成果を発表

まとめと次回予告

- ・今日の成果を振り返り、次回の提案書作成に向けた準備を確認

A 共に育む笑顔の町グループ 「人にもかんきょうにも優しい町づくり」

ゲスト：山添さん(竜王町 生活安全課)・北川さん(竜王町 生活安全課)
浅野さん(自立支援課)



B 未来を創る挑戦者たちグループ 「竜王町に住んでいる人にも来る人にも 不便なくたのしめる場所(町)にするには」

ゲスト：寺田さん(竜王町 未来創造課)



発表準備

グループワークの成果をまとめ、提案書をまとめる

いよいよ提案書の完成に向けた総仕上げの日。
これまでの成果を「現状」「理想」「解決策」にまとめ、プレゼンテーションの練習もしました。
自分たちのアイデアを伝えるための準備に熱が入った一日でした。

開催日時：2024年11月9日(土) 15:00～17:00

場 所：竜王町公民館

参 加 者：小中学生・大学生サポーター・町役場職員

目 標：グループで提案書を完成させ、発表に向けた準備を整える。
提案を具体的な行動プランとしてまとめる。

オープニング

- ・前回までの振り返りと、発表準備の流れを共有
- ・今日の目標：「提案書を完成させ、発表準備を整える」

アイスブレイク

- ・「お題トークリレー」で緊張をほぐし、参加者同士の親しみを深める

グループワーク① 「グループのゴールを決めよう」

- ・これまで出てきた「理想」の一覧から、最も重要と思うテーマを投票で選び、話し合いで1つに絞り込む

グループワーク② 「提案書を完成させよう」

- ・ワークシートを活用し、グループごとに提案書を作成
- ・さらに、「自分たちができること」と「大人に協力してほしいこと」をグループで話し合う。

成果発表とフィードバック

- ・各グループが提案を発表し、他のグループやサポーターから感想や改善案をもらう

まとめと次回の予告

- ・今日の成果を振り返り、最終回に向けた準備内容を確認



チームからの プレゼンテーション

12月7日に開催された「竜王町地域共生社会推進フォーラム」にて、町役場や地域住民などたくさんの参加者の前でドキドキしながら提案書を発表。

2つのグループが、それぞれのテーマを深掘りした提案をプレゼンテーションしました。

A チーム「町民が無理なく環境を綺麗にする」

町民が無理なく環境を綺麗にする
竜王町こどもまんなか会議 Aグループの提案書

理想（どうなったらいいか？）

- みんなが無理なく自然に環境を綺麗にできるようにすること。
- 町の中がいつも綺麗で気持ちよく暮らせるようになること。
- 草刈りやゴミ拾いが楽しみながらできる活動になること。

現状（今どうなっているか？）

- 草刈りやゴミ拾いの機会があまりない。
- ゴミが落ちていたり、雑草が伸び放題の場所がある。
- みんなが環境美化に参加する意識が低いように感じる。

町民が無理なく環境を綺麗にするには

理想（どうなったらいいか？）

- みんなが無理なく自然に環境を綺麗にできるようにすること。
- 町の中がいつも綺麗で気持ちよく暮らせるようになること。
- 草刈りやゴミ拾いが楽しみながらできる活動になること。

現状（今どうなっているか？）

- 草刈りやゴミ拾いの機会があまりない。
- ゴミが落ちていたり、雑草が伸び放題の場所がある。
- みんなが環境美化に参加する意識が低いように感じる。

私たちが話し合った「解決策」

- 草刈りやゴミ拾いの機会をもっと作る。
- 例えば、チーム対抗の草抜きバトルや、参加賞を用意してみんなが楽しく参加できるようにする。

解決策の実現に向けて

私たちができること

- 草刈りやゴミ拾いのイベントに積極的に参加する。
- 友達を誘って、イベントの参加人数を増やす。

大人に協力してほしいこと

- 草刈りやゴミ拾いのイベントを企画してほしい。
- チーム対抗の草抜きバトルや参加賞を用意して、みんなが楽しく参加できるようにしてほしい。

B チーム「竜王町を魅力的で不便なく安全に楽しめる場所にする」

竜王町を魅力的で不便なく安全に楽しめる場所にする
竜王町こどもまんなか会議 Bグループの提案書

理想（どうなったらいいか？）

- 不便がなくなり、住む人も遊びに来る人も楽しく快適に過ごせるようになること。
- 小学生でも中学生でも楽しめる場所が増えること。
- 町の魅力をもっと伝えて、町を出ていく人が減ること。
- 通学路が安全になり、みんなが安心して暮らせるようになること。

現状（今どうなっているか？）

- 行きたい場所に行くのに不便で、車を持っていない人はもっと困る。
- 楽しめる場所や行事が少なく、他の町に行く人が増えている。
- 通学路に草が多くて危ない。
- 町の良さがあまり知られていない。

竜王町を魅力的で不便なく安全に楽しめる場所にする

理想（どうなったらいいか？）

- 不便がなくなり、住む人も遊びに来る人も楽しく快適に過ごせるようになること。
- 小学生でも中学生でも楽しめる場所が増えること。
- 町の魅力をもっと伝えて、町を出ていく人が減ること。
- 通学路が安全になり、みんなが安心して暮らせるようになること。

現状（今どうなっているか？）

- 行きたい場所に行くのに不便で、車を持っていない人はもっと困る。
- 楽しめる場所や行事が少なく、他の町に行く人が増えている。
- 通学路に草が多くて危ない。
- 町の良さがあまり知られていない。

私たちが話し合った「解決策」

- 「チョイソコ」の停留所を増やし、バスの路線を広げて、行ける場所を増やす。
- インスタやTikTokなどを使って、竜王町の魅力を発信する。
- アグリパークやかがみの里でのイベントも、近隣地域から子どもたちが来る仕組みを作り、地域の魅力を活かした企画を考案する。
- 自転車が通しやすい道路を作るなど、移動がもっと便利になるようにする。

解決策の実現に向けて

私たちができること

- 自分たちで「チョイソコ」やバスを積極的に使い、便利さを体験する。
- SNSで町の魅力を発信するため、動画や写真を撮り、投稿する活動に参加する。
- 子どもたちが主体的に企画できるように、アイデアを出したり、イベントの準備を手伝う。

大人に協力してほしいこと

- 「チョイソコ」の停留所を増やし、町全体で利用しやすくしてほしい。
- SNSで魅力を発信する子どもたちを応援し、必要な技術や機材のサポートをしてほしい。
- 子どもたちが主体的にイベント企画に関わる仕組みを作り、意見やアイデアを受け入れてほしい。

竜王町地域共生社会推進フォーラム パネルディスカッション

中村 先生
弓削メディカルクリニック

「草抜きバトルは健康促進に良い影響を与える可能性が高い。楽しく活動できる仕組みを作るのが重要。」

「通学路の安全提案は、地域全体の安心感に直結する。」

島田 さん
やまびこ福祉会

「子どもたちが企画に関与することで、地域の多様性が広がる。」

「『チョイソコ』の停留所拡充案は、障がい者支援にも大いに役立つ。」

清岡 さん
ダイハツ工業

「競争形式の草抜きバトルは、地域の結束力を高められそう。」

「企業としても地域魅力発信の支援を検討したい。」



A チーム

現在、庁内で実施している環境美化や清掃活動を、子どもたちが楽しく参加できるイベントとしてリニューアルできないか検討中です。企画段階から子どもたちの意見を取り入れながら、より魅力的な取り組みとなるよう工夫を重ねています。

B チーム

町内の乗り合いサービス「チョイソコリゅうおう」について、子どもや若者にも利用を広げるため、庁舎内の関係課と連携し、サービスの魅力や利便性が伝わる効果的な周知方法を検討しています。利用促進に向けた取り組みを進めています。

全体振り返り

竜王町こどもまんなか会議の全5回の活動を総括し、参加者やサポーター、役場職員、全体コーディネーターの感想を通じて成果と課題を振り返ります。この振り返りを基に次年度の竜王町こどもまんなか会議へ活かします。

RESULTS

今年度の成果

1 等身大の地域の課題と解決策

小中学生が自分たちで考えた提案を地域住民や町役場の職員の前で発表。特に「環境整備」と「住みやすい町づくり」という2つの大きなテーマに基づく提案は、現実的かつ実行可能性の高い内容として評価されました。

2 世代を超えた対話の場の実現

小中学生同士だけでなく、町役場の職員や大学生サポーターといった多世代の参加者と意見交換を行い、視野を広げることができました。

3 子どもたちの成長

会議の初めの頃、発言をためらっていた子どもたちが、自信を持って意見を言えるようになるまでに成長しました。最後には堂々としたプレゼンテーションで観客を魅了しました。

竜王 こどもまんなか 会議 2024

RYUOH TOWN
KODOMO MANNAKA
KAIGI 2024

初めて大勢の人の前で自分の意見を言ってみたけど、ちゃんと聞いてくれて嬉しかったです。
(小学5年生)

大学生のお姉さんが優しく助けてくれたおかげで、リラックスして話せました。
(中学1年生)



みんなで意見を出し合って、それが形になるのがすごく楽しかった！
(小学6年生)

みんなが楽しみながら真剣に話し合う姿に感動しました。短い期間でこんなに成長するなんて！
(大学生サポーター)



初めは恥ずかしがっていた子どもたちが自信を持って発表している姿を見て、自分も刺激を受けました。
(大学生サポーター)

町のことを今まであまり考えたことがなかったけど、今回いろいろ調べてみて、自分たちでもできることがあると分かりました。
(小学6年生)

初めは何を言ったらいいか分からなかったけど、だんだん意見を出せるようになって、最後は自信を持って発表できました。
(中学1年生)

子どもたちの視点から新しい課題に気づけました。このアイデアを町づくりにぜひ活かしたいです。
(竜王町役場職員)

小学生から行政職員までがフラットに話し合う場はなかなかない。これからも続けたいと思います。
(竜王町役場職員)

OVERVIEW

役場からの総括

FROM TOWN HALL

今回の会議では、子どもたちが主体的に意見を出し、地域の未来と一緒に考える貴重な機会となりました。この成果を役場としても今後の施策に活かしていきたいと思います。また、次年度は議会形式の取り組みを予定しており、さらに多くの子どもたちに参加いただける内容を目指します。

EXPECTATIONS

次年度への期待

テーマと形式

議場を使った一般質問形式の会議を検討中。より個人の意見を引き出せるトレーニングを導入予定。

プログラム改善

小中学生が無理なく参加できる構成を目指し、アイスブレイクの強化や練習時間の確保を行う予定。

RYUOH TOWN KODOMO MANNAKA KAIGI 2024

お問い合わせ

担当窓口：竜王町役場 健康推進課（保健センター）

〒520-2592 滋賀県蒲生郡竜王町大字小口3番地

TEL：0748-58-1006

Eメール：kenko@town.ryuoh.shiga.jp

次年度の詳細情報ページ・
応募フォームはこちら



主催 竜王町役場 健康推進課（保健センター）

協力 NPO法人ナイマゼ

